



校長室だより

新入生107名を迎え、令和4年度1学期スタート！



新型コロナ感染拡大が心配されるなか、本日中込中学校は107名の新入生を迎え、全校生徒350名で1学期がスタートしました。今年も午前中始業式（在校生のみ）を行い、午後感染対策をしながら入学式を全校で行うなど、なるべく例年に近い形で学校生活を送っていくことを考えております。本日午前中に行われた1学期始業式では次のような話しをさせていただきました。

今年のキーワード「With CORONA の生きがいづくり」

例年になく寒さが厳しかった冬もようやく終わり、校舎南の梅の花が咲き始める中、本日中込中学校は令和4年度をスタートすることが出来ました。3月の感動的な卒業式から約半月、皆さんはどの様にこの半月を過ごしたのでしょうか。

身近な話題として、コロナ感染再拡大とロシアのウクライナ侵攻の話題が日々続いています。私たちの身近にも様々な場面で影響が出てきていますが、まずは、毎日自分ができることを考え粛々と取り組んでいくことが大事です。中込中学校では皆さんの協力のお陰で、3月の卒業式を例年に近い形で行うことが出来ました。大変感謝しています。これも全校の皆さんが心を合わせ、日々のマスク着用、手洗い、換気等当たり前のことを着実に取り組み続けた成果だと思います。新学期もぜひ今まで通り確実な取り組みを続け、コロナでもできることを探しながら新たな学校生活を創り出していきたいでしょう。

さて、毎年年度の初めに伝えている私のモットー2つをここで改めて話します。1つ目は「あ・た・ま」。「明るく」、「楽しく」、「前向きに」。2つ目は「ピンチはチャンス」。この2つのモットーは今年も変わりません。中込中の学校教育目標「笑顔があふれ、学びと活動がある学校」の「笑顔」に重なっているこの1つ目のモットーを今年も意識しながら、全校の皆さんがもっともっと「笑顔」で過ごせる学校にしたいと願っています。楽しいから「笑顔」になるのではなく、「笑顔」でいるから楽しくなると言われます。今年も毎日「笑顔」とそのための「元気な挨拶」を意識して過ごしていきたいでしょう。

2つ目のモットーは「ピンチはチャンス」。一昨年から続くコロナ禍の学校生活は、まさに「ピンチをチャンスに変換する力」が試された2年間でした。そして、昨年はその力が一回り伸びた1年間でもあったと思います。今日から始まる1学期の1日1日のなかで、今までの経験を生かしながら、更にピンチをチャンスに変える智慧を出し合い「笑顔」「学び」「活動」を増やしていきたいでしょう。

今年も新たなキーワードをひとつ加えたいと思います。それは「With CORONA の生きがいづくり」です。「勉強」「部活動」「学友会活動」この中学校生活の3本柱の中で、コロナと共存しながら生きがいを創り出していくことはもちろん、更にこの3本柱以外にも自分なりにコロナでも楽しめる生きがいを創り出していけば、今年も充実した学校生活になることは間違いありません。「笑顔」あふれる学校生活のために、「With CORONA の生きがいづくり」を合い言葉に取り組み成長していきたいでしょう。以上で1学期始業式の話が終わります。

今年度も校長室だよりには、儀式や校長講話等で話させていただいたことを随時掲載していきたいと考えています。学校へのご意見、ご要望等ありましたら、些細なことでも構いませんので右の連絡先へお問い合わせ下さい。コロナ感染に負けないよう、今年も「全ては中込中学校の子どもたちの笑顔のために!」、「生徒も先生も、明日も早く行きたいと思う学校づくり」を目指し取り組んでまいります。ご支援・ご協力よろしくお願い致します。(文責：大西孝一)

佐久市立中込中学校

*ご意見、ご要望、お問い合わせなどは、下記までお寄せ下さい。
TEL 0267-62-0725
Fax 0267-62-2876